

ARY

JICA LIBRARY



1076839[8]

19877

フィリピン共和国・ボホール州総合開発計画  
マスター・プランの調査に関する最終報告

〈要約, 結論および勧告〉

1979年12月

国際協力事業団

国際協力事業団

19877

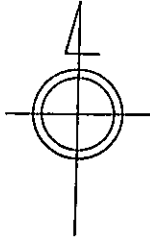
## は　じ　め　に

この報告書は、フィリピン共和国ボホール州の総合開発計画案のファイナルドラフトレポートの要約である。

ボホール州の総合開発計画は、フィリピン共和国から我国への技術協力の要請により、国際協力事業団により調査と開発計画の立案が実施されたものであり、ファイナルドラフトレポートに対する若干の現地政府からのコメントを加味してファイナルレポートが、目下作成されつつある。

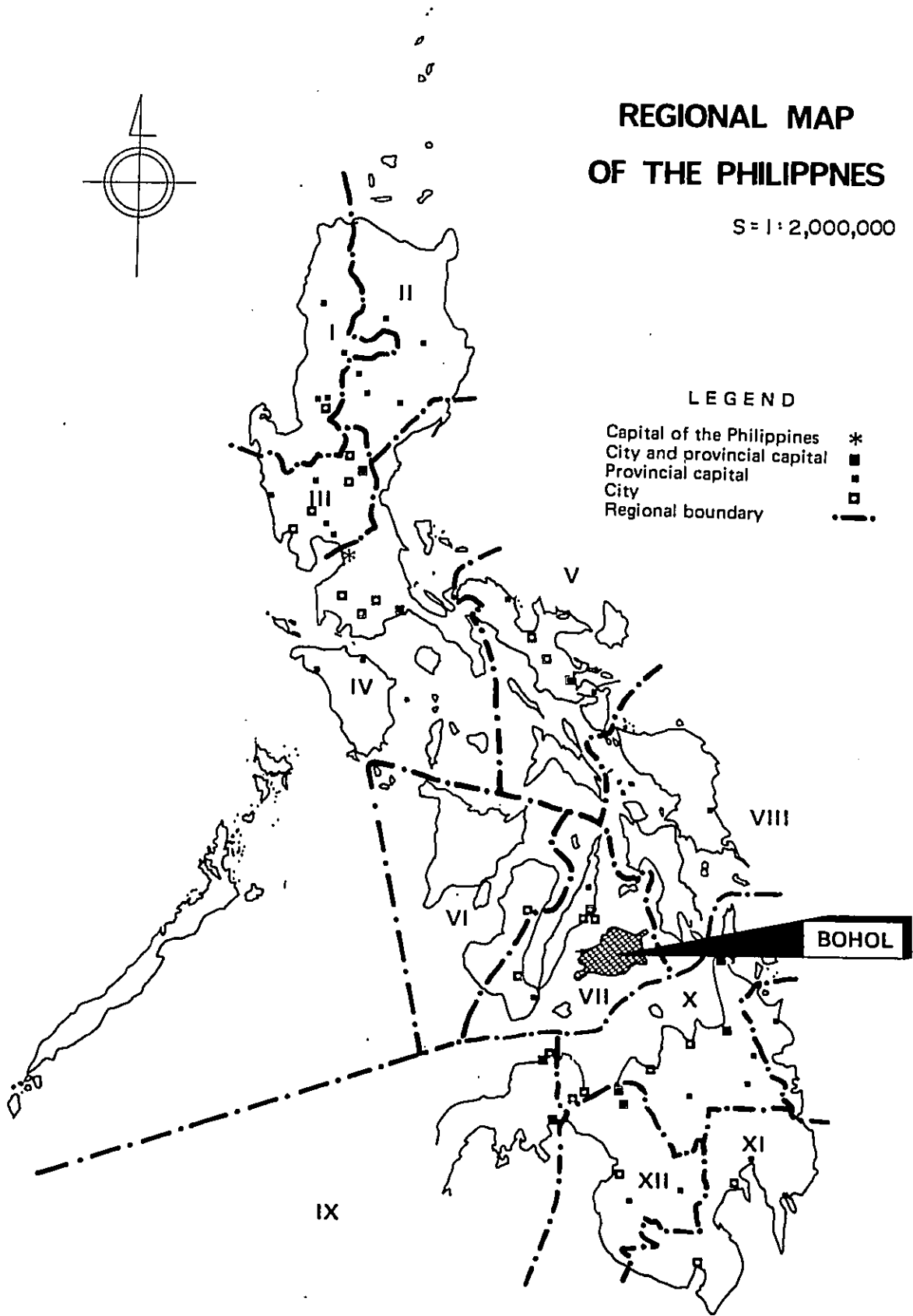
# REGIONAL MAP OF THE PHILIPPINES

S = 1 : 2,000,000



## LEGEND

- Capital of the Philippines \*
- City and provincial capital ■
- Provincial capital □
- City ○
- Regional boundary - · - ·



## 目 次

1	ボホール州の経済的背景	1
2	開発上の問題点	2
3	ハイインパクトプロジェクトによるアプローチの必要性	3
4	ハイインパクトプロジェクトの要約	5
4-1	経済部門	6
4-1-1	石灰質土壌に対する技術の有効活用とマルコス大統領農業 推進センターの設立	6
4-1-2	Wahig - Pamaesalan 稲作灌漑パイロット農場	6
4-1-3	野菜生産推進センターの設立	7
4-1-4	土地利用の基礎的研究と改善策の推進	7
4-1-5	肉牛用の畜産業の開発（飼料作物の改善計画）	8
4-1-6	河川流域の水資源保全のためのフィージビリティ調査	8
4-1-7	Cogtong 湾水産物加工工場	8
4-1-8	Cogtong 湾漁港	9
4-1-9	家内工業のための新しい技術の開発	9
4-1-10	観光市場調査／開拓プロジェクト	9
4-1-11	海浜リゾート・ホテルの開発計画	10
4-2	インフラストラクチャー部門	11
4-2-1	Wahig - Pamaesalan インフラストラクチャー	11
4-2-2	Cahayag 共同灌漑プロジェクト（CIP）	11
4-2-3	Tagbilaran 水道施設の改良	11
4-2-4	農村給水	11
4-2-5	道路改良プロジェクト	12
4-2-6	Tagbilaran 港湾改良	13
4-2-7	Tubigon 港の改良およびターミナル	13
4-2-8	Jagna 港の改良	13
4-2-9	空港の改良	14
4-2-10	Alcogas 精製工場に関するフィージビリティ調査	14
4-2-11	遠隔通信の拡充	14
4-3	社会サービス部門	14

4-3-1	住血吸虫病センター研究サービスの強化	14
4-3-2	移動医療サービス	15
4-3-3	Tagbilaranにおけるボホール州労働力総合開発センター (BIMDC)	15
5	プロジェクトの費用見積	18
6	実施に必要な戦略	21
6-1	プロジェクト機構の早期設立	21
6-2	実現性の高いプロジェクトの戦略的選択	21
6-3	プロジェクト・パッケージ	21
6-4	プロジェクト実施ネットワーク	21
6-5	追跡調査の必要性	22
7	“BIAD”地方開発の考え方	22
8	長期的開発戦略	24
8-1	ボホールの経済のための開発戦略	24
8-2	ボホールの産業に対する開発戦略	25
8-3	立地条件的開発戦略	27



## 1 ボホール州の経済的背景

ボホール州の経済は、従来から農業が主体であったし、現在もそうである。産業構造を産業別雇用者数で見ると、三つの主要産業から成り立っていることがわかる（資料、NSCO 1975年）。

1 ) 農林産業	64.8 %
2 ) 製造業	12.3 %
3 ) サービス業	11.0 %

ボホール州の経済機構を空間的にとらえるならば、下記のように特徴づけることができるであろう（付録22-8の農業資源地図も参照のこと）。

－海岸線は、ココナツの繁茂する地域で囲まれている。

－稲の成育地域は、ボホール州全域には均等に分布しており、若干、BIAD III およびVに集中している。

－近海では、ほとんどの場所で小規模漁業が行なわれている。

－養魚池が各地に点在しており、若干、Tutbigon およびMabini地域に集中している。

－ボホール州の製造業の主要な部分をなす家内工業は、沿海部、特にTagbilaran とTubigonの間にある郡部に点在している。

－経済活動は、大まかに二等分される。北半分はMetro Cebuの経済圏にあり、南部はMindanaoの経済圏に含まれる（付録22-10参照）。

ボホール州の住民の居住および地域開発のパターンには、各郡部を通じて均一性や類似性が多い。各郡とも、ほとんど同じように、“poblacion”を核にして、小規模のタウンのような都市部民住区が形成されている。このpoblacionは、ほとんど例外なしに郡集会所、教会、公設市場、学校、商店、小さな売店、修理工場などで構成されている。

ボホール州は、地理的に Cebu 市に近い第Ⅶ地区の中央部に位置するため、ボホール州の経済、特に州西部の経済は、Cebu の経済に依存し、また大きく影響されている。第Ⅶ地区の中でボホール州が果している役割を要約すると、次のようになる。

- Cebu に対する主要農作物の供給地
- 主要海産物の供給地（原料および半加工製品）。
- 消費財の供給地（すなわち、農産加工品および小家産業製品）。
- 製品の消費地（すなわち、農産物、肥料および農業機械、および輸送機器）。
- Cebu の市民および旅行者の休暇地、保養地。
- Cebu のための余剰労働力の供給地。

## 2 開発上の問題点

ボホール州の社会経済的条件は、第Ⅶ地域の他の州と比較すると相対的に低い、人的資源に豊かである。存在する諸問題は、互いに絡み合っており、それが、下に示すように“悪循環”となって、ボホール州の開発をおくらせている（第7，2図も参照のこと）。

- ボホール州が社会、経済的に比較的不利な立場にあるのは5つの要因が組み合わされた結果、ボホール州とフィリピンの他の地域との間の経済発展のギャップを広げ、州内総生産水準を低く押しとどめているからと考えられる。

5つの要因とは、

- 1) 天然資源に恵まれていない。
- 2) インフラストラクチャーの未開発。
- 3) 資金力が欠けている。
- 4) 技術および経営のノウハウが欠けている。
- 5) 制度上の制約 すなわち、中央集権主義。

- 経済活動のレベルの低さ、特に労働力吸収力の高い二次産業が発達していないことと高い人口増加率がかさなって、ボホール州の失業率や不完全雇用率を押しあげ、ボホー

州人の州外流出を生じさせている。

－これらの要因の因果関係として、個人所得水準の低さが生じている。その結果、ボホール州内の市場需要は停滞している。このようなボホール州内の不十分な有効市場需要のため、これまでボホール州経済の民間部門には、拡張を促す十分なインセンライヴがなかった。これも、ボホール州の州内総生産の低水準の原因の1つであった。

－個人所得の水準が低いことやその他の理由から、州内の財政収入も低水準にとどまっております。このため、ボホール州内の地方諸政府は、'インストラクチャーや社会サービスの発展のための投資資金が欠乏している。その結果として、ボホール州内の社会的な生活環境は低い。

－最も重要な部門である第1次産業（農業、畜産、漁業）は、下記の要因から、きわめて生産性が低くなっている。

- － 不十分な灌漑
- － 貧弱な輸送システム
- － 不十分な港湾および貯蔵施設
- － 不十分な電力供給
- － 限られた商品流通機構
- － 農業技術開発の欠除
- － 低い土壌の肥沃度

### 3 ハイインパクトプロジェクトによるアプローチの必要性

ボホール州が上に列挙したような問題に当面していることは、政策立案者ばかりでなく、ボホール州の住民にも広く知らされているところである。これまでも、過去数年間さまざまな開発計画がボホール州について立てられてきた。しかし、ボホール州経済の基本的な性格を徹底的に変える、すなわち、ボホール州経済を停滞させている諸要因の

悪循環を断ち切るこれらの計画を実施するために、大きな行動がとられたことは、かつてなかった。このように無為の原因は、主として、これらの政策目標を達成するための資本支出として投下すべき財源が欠けていることにあったともいえる。

しかし、われわれの判断では、ボホール州に最も必要なことは、短期間に即時実施でき、しかも、州内の財源あるいは州外の貸与財源によって、ボホール州に十分な資金があたえられた場合、ボホール経済に明確な成長効果をもたらすことのできる計画プロジェクトを識別、策定することである。このような計画プロジェクトを、ハイインパクトプロジェクトと呼ぶことにする。

そうではなくて、長期的且総合的な開発計画を立て得るためには、長い期間の第1次データ収集、分析、予測、部門間の開発計画などが必要となってくる。われわれの判断では、このような長期計画を立てるのは時期尚早であるばかりでなく、開発がすぐに進行しはじめて悪循環が断たれないかぎり無意味である。

インパクトの高い計画の識別、策定のために採用した方法は、次のように特徴づけることができる。

— 地域総合開発計画を、それによってたゞちに政策行動が促進できるインパクトの高い計画プロジェクトを識別、策定する1つの“判断の手段”と考える。

— 短期計画期間（1980～1985年）を1次的時間ワクとして用いる。

— 天然資源、熟練労働力、財政、および制度的資源の不十分さを考慮して、集中的公共投資政策を採用する。

— 計画の識別、策定は“フィージビリティ調査の主題として、たゞちに利用できるように、場所、目標、作業活動、および費用の見積りに関して充分具体的に行なう。

ボホール州が緊急な施策を必要としていることを考えて、ボホール経済にとって戦略的に重要な各開発セクターを以下のように選定した。

経済部門	— 農業・畜産業	本文第8章
	— 林業	// 第9章
	— 水産業	// 第10章
	— 鉱工業	// 第11章

インフラストラクチャー 部 門	－観光業	本文第12章
	－水資源開発	# 第13章
	－運輸システム	# 第14章
	－エネルギー	# 第15章
	－通 信	# 第16章
社会サービス部門	－公衆衛生	# 第17章
	－地域開発	# 第18章
	－人的資源および教育	# 第19章
	－住 宅	# 第20章

ハイインパクトプロジェクトは、下記の方法に従って調査した。

- －現在の各部門別問題および傾向の分析 問題の構造の識別
- －各部門の開発の可能性のアセスメント
- －各部門ごとの開発目的および目標の設定
- －それぞれ、1980－85年、1985年－90年、1990年－2000年の短期、中期および長期的各部門用戦略の決定
- －各部門別開発計画の策定
- －各部門別インパクトの高いプロジェクトの識別
- －実施計画。費用および実施スケジュール

上記の“方法論”は各部門の性質に応じて多少の差はあるものの、全計画にわたって遵守した。また特にインパクトプロジェクトが見出せない問題領域には、一連の政策の勧告が行なわれたが、それらは、ハイインパクトプロジェクトとしては採用されなかった。

#### 4 ハイインパクトプロジェクトの要約

合計27のハイインパクトプロジェクトが選定された。11が経済部門のプロジェクト、14がインフラストラクチャーのプロジェクト、3つが社会サービス部門のプロジェクト。

ェクトである。これらのプロジェクトの概要とその目的を次に示す。その後示す地図と詳しい説明も合わせて参照されたい。

#### 4-1 経 済 部 門

##### 4-1-1 石灰質土じように対する技術の有効活用とマルコス大統領

###### 農業推進センターの設立

ボホール州の農業生産を増大させるという目標は、適当な技術、特にボホールの極度に肥沃度の乏しい土壤に適した技術の開発によってはじめて達成できる。特に注目すべきことは、ボホールの石灰質土壤がこれまで十分に明らかにされておらず、また、土壤と農産物の間に存在する相関々係も、十分に調べられていない点である。植物の円滑な成長を阻害する土壤水分不足の影響に対しては、早急に実質的に解決法を明らかにすることが必要である。しかし、これらの制約を克服できる新しい技術の開発は決して容易なことではない。

実用的技術開発の初期の段階では、公的な援助があたえられる必要がある。特に、ボホールに現在ある3つの研究所を最も効果的に組み合わせて、その人的資源を活用し、末端まで新しい有効な技術が用いられるようにすべきである。そのためには、ボホールの農業生産のための有効且生産的な技術を充分に開発する目的で、農業推進センターを設立し、“総合研究、普及システム”を確立することが強くのぞまれる。マルコス大統領穀類試験所は、立地的にも土地保有面積の点からみても、最適の研究所であり、すでに100ヘクタールが新しいセンターのために用意されている。

土壤、農作物、および有効な水利用と作物の生産性についての相関々係を科学的に明らかにしそれにもとづいて新しい生産技術を活用するためには、農民にも農地レベルで十分に利益のあがる新しい技術をあたえて、技術革新を促進するためのインセンティブとしなければならない。

ボホール州における技術革新の巾広い利用は、それが技術的知識や経験をもった有能な人達によって行なわれている普及サービスの効果的支援があってはじめて可能となるものである。

##### 4-1-2 Wahig - Pamacsalan 稲作カンガイパイロット農場

亜鉛を用いる新技術は、農民によく知られているが、この技術の全体系は、まだ利

用されていない。このことは主として、肥料など必要な物質が農民にとって金銭的負担となるという経済的な理由によるものである。米の生産がまだ低いのは、まさにこのためである。パイロット農場は技術計画および Masagana 99 の指令にもとづいた稲作生産の管理方法を示すことができるものとなろう。従って Wahig-Pamaesalan 稲作灌漑パイロット農場は、有効技術普及のための拠点として位置づけることができる。

また、ワヒグ、パマクサラン灌漑計画地に新しく灌漑される地域に移住してくる農民たちに、望ましい稲作技術を普及させることも絶対に必要である。パイロット・プロジェクトの開始期には多くの技術的困難が生じることが予想されるし、また、下記の問題に答えることが必要となろう。

- － 農地造成の直後の土地で利用すべき品種
- － 異なる農地条件のもとでの望ましい肥料利用水準
- － 病害虫の制御
- － 水源の有効利用を効慮した経済的且合理的灌漑方法
- － 伝統的な稲作法を改善するために必要とされる費用と利益

多くの技術的な問題が生じた場合、その都度それに答えるためにも、パイロット農場の設立が強く望まれる。またパイロット農場は、そのサービス区域内に農民が移住してくる前に稼働しはじめていることが望ましい。

#### 4-1-3 野菜生産推進センターの設立

Cebu の工業化が進むに従って、新鮮な野菜や果物に対する需要は、急速に増大するであろう。従って野菜の生産を推進して需要を満たすことが必要となる。ボホール州北部は、野菜生産に最も適していると考えられる。Tubigon の共同灌漑計画では、水田用灌漑水が野菜生産にも利用できるもので、この地域の野菜生産は拡大するであろう。

#### 4-1-4 土地利用の基礎的研究と改善策の推進

ボホール州の土壤は、主として石灰岩や石灰分に豊んだ負岩、泥岩、および砂岩に

よって生じた石灰質の土地である。石灰質土壌は、通常有機分が少なく、そのため農作物にとっては、窒素が最も不足する養分となる。また、アルカリ性のため、土壌にはマンガン、銅、あるいは鉄分が不足しがちである。土壌の生産性を高める方法に関する研究を行なうために、化学研究所を建設することが必要である。土壌の化学的分析は、a) 不足している成分は何か。 b) 不足している地域はどこか。 c) 不足はどの程度かを明らかにするために行なわれる。これらの分析と共に、土壌の性質と成長させる植物の種類の間には、生産性に関してどのような関係があるかを調べることとなる。

#### 4-1-5 肉牛用畜産業の開発（飼料作物の改善計画）

肉牛の生産は、ボホール州で増大させる必要があるが、開発の主な障害は、いかにすれば飼育時により安いまぐさを供給できるかということである。現在、ちがやが植えている地域には、イビルーイビルその他の速成植物を植えかえる必要がある。これらの植物がよく成育すれば、雑草の成長が抑えられやがてちがやは根絶できるであろう。しかし、この方法は考えるほど容易にいくものではなく、まずちがやを根絶する方法を総合的に研究することが必要である。ボホール州のちがや成育地は、少なくとも10万ヘクタールにのぼる。これらの土地は、農地かあるいは牧草地に変換することが必要となる。

#### 4-1-6 河川流域の水資源保全のためのフィージビリティ調査

ボホール州の限られた水資源を保全するためには、大部分の河川の流域管理を行なわなければならない。このフィージビリティ調査では、次のことを明らかにすることが必要である。

- (1) 森林の保護手段
- (2) 土木作業を含む必要な修復手段
- (3) Kaingin（焼畑農業）活動に境界と制限を施すこと

#### 4-1-7 Cogtong 湾水産物加工工場

プロジェクトの目的は、次の通りである。

ーボホール州東海岸の漁師に氷を供給して、彼等の漁獲物の経済価値を保持する。

ートロール漁獲物の流通センターとしての役割りを果たす。



－ 近隣のいけすや東部ボホール沿岸で捕獲した小えびや芝えびを冷凍して、ボホール州外に輸出する。

－ 魚肉と獣肉の混合物（魚ソーセージ）の膜状包装品を製造する。

－ Cebu, Cagayan de Oro, Manila に出荷するミルクフィッシュその他の漁獲物を冷凍する。

－ この工場を、ボホール州の輸出用水産物加工産業の主要センターの1つに発展させる。

#### 4-1-8 Cogtong 湾漁港

プロジェクトの目的は、次の通りである。

－ ボホール州東海岸地域の主要漁港としての役割りを果たす。

－ 沿岸漁業およびトロール漁法用漁船を停泊させる。

－ 船架を含めて船舶を修理するための施設をもつ。

－ REFGCR（冷凍貨物船）が、埠頭、棧橋に停泊できるようにする。

#### 4-1-9 家内工業のための新しい技術の開発

小規模産業の開発が成功するか否かは、主として生産性をどれだけあげることができるかによってきまる。技術開発は、窯業、縫製業、金属製品の製造業で求められている。プロジェクトの目的は、次の通りである。

－ 技能・技術の改善や材料の最適利用によって製品の技術水準や品質が向上することを示す。

#### 4-1-10 観光市場調査／開拓プロジェクト

観光開発の成功は、観光客の市場の発見とその開拓にかかっている。正しい市場分析なしに投機的に投資することは破滅につながる。

このプロジェクトは、最善の市場を高価な試行錯誤によって見出す方法をさけるため

に、ボホールの観光開発が果さなければならない前提条件である。プロジェクトの目的は、次の通りである。

- ボホールの観光開発に最も適した観光のイメージを明らかにする。
- 観光客にボホール内の観光資源や条件を知らせる。
- 長期的な国内観光客の誘致の他、外国の観光客も誘致する。
- 市場分析を行なうために、観光客についての必要十分なデータを作成する。データ作成は観光客数、滞在期間、支出、どの国や地域からきたか、社会的経済的地位、動機、旅行の種類を含み、また、ホテルの種類、利用可能室数、輸送手段の有無、費用など、観光産業の供給する内容のアセスメントをとまなければならない。
- ボホールへの主要な入口地点で、観光客に情報サービスを提供する。
- 観光客の住んでいる国や地域で、ボホールの観光を促進する。

#### 4-1-11 海浜リゾート・ホテルの開発計画

ホテル産業は、観光産業の中核である。海外の観光客や国内の長期滞在客のための基本的な宿泊施設が、ボホールの多くの地域に欠けている。この種のリゾート・ホテルに対して目標とする有効需要は、1985年以前には生れそうにないが、ボホールへ団体観光客を誘致するためには、できる限り早い時期に施設を整えることが必要である。このプロジェクトは、この地域の観光産業に対する大きな刺激の誘因となるものと考えられる。

ホテルの開発は、政府の方針としては、民間デベロッパーによって行なわれることになっているが、用地の取得、プロジェクト地域の保存、開発に関するインセンティブ、基盤となるノンフラストラクチャーの整備などに対する広範な政府の援助が、このプロジェクトの成功の鍵をにぎっている。観光開発の計画、実施に一貫性をもたせるためには、観光省、州通商観光委員会、州開発会議スタッフその他の関連諸機関の連携を求めることが必要となる。

## 4-2 インフラストラクチャー部門

4-2-1 Wahig-Pamacsalan インフラストラクチャー・プロジェクト  
約6000ヘクタールの土地にまたがるこのプロジェクトは、州の東中部に位置するその影響を受ける地域には、Pilar, Sierra-Bullones, Dagohoy, San Miguel, Alicia, およびUbayの各郡が含まれる。プロジェクトの主な作業には、Pamacsalan貯水ダムや貯水機能も備えたMalinas調整ダムの建設がある。このプロジェクトの目的は、灌漑および水力発電である。このプロジェクトの灌漑によって年間30,000トンの米を生産することが予定されている。

4-2-2 Cahayag 共同カンガイプロジェクト(CIP)  
Cahayag CIPは、島の北西部で行なわれCalapeおよびTubigon郡の管轄区域内の約600ヘクタールの土地に灌漑する能力をもつことになる。このプロジェクトは、高さ約25万至30メートルの貯水ダムが小型水力発電所の開発に理想的であり、貯水池内では、淡水漁養殖が可能だという意味で、多目的な機能を備えたものである。2つの貯水ダムは、Tubigon郡のBanlasanとJlihanのBarangayaに建設するように計画されている。

4-2-3 Tabgilaran水道施設の改良  
このプロジェクトは、現存する8つのポンプ装置および配水システムの改良と、ろ過、浄水、貯水タンクの建設を含んでいる。水は配水のために配水池に貯えられる前に、塩素処理される。これらのタンクの容量は、下記のような1985年の計画地区内の水需要を満たすように設計されている。

家庭用(人口約51,000)

- 4,300トン/日

工業用

- 1,200トン/日

## 4-2-4 農村給水

このプロジェクトは各郡部に散在する泉や堀抜井戸の改善に関するものであり、5つのBIADセンターに優先権があたえられている。プロジェクトの実施は、農村地域の地方水道組合との協力のもとにBPWによって行なわれる。泉や堀抜井戸の開発にも、Pilar, Valencia およびSevilla市の豊かな水をもつ泉を水源として、近隣のBarangenyや隣接する市に適当で安全な水を供給するこ

とができるかどうかについてのフィージビリティ調査が補足されることになろう。  
Tagbilaran を除く 46 の郡それぞれに、下記の農村給水が立案されている。

給水レベル-1 (水源のみ)	30ヶ所
給水レベル-2 (水源及び小規模 給配水施設)	1ヶ所

#### 4-2-5 道路改良プロジェクト

##### 1. Tagbilaran - Tubigon

##### 2. Tagbilaran - Jagua

##### 3. Loay - Carmen

道路の改良については、交通量の多いもの、あるいは Tagbilaran, Tubigon および Tagna の主要湾港と接続している国道は 1985 年までに改良される計画である。しかし、調査の結果、2 年至 3 年という短期間に、改良や格上げが行なわれる必要のあることが明らかになった。この計画の目的は、下記のような舗装、改修、狭く危険な橋のとり替えや拡巾である。

- 現存の国道の中、砂利道をすべて舗装し、また、すべての消耗したアスファルト舗装面を修復する。

- 国道は、所定の基準断面に従って路肩を加え、道路を拡巾する。

- 排水施設や道路保護施設を改良する。

- ガードレール、道路標識、道路目印など適当な道路施設を備える。

- 道路整備能力を高める。

##### 4. 他の国道の危険な橋梁の架け替え

高内の橋の中には、20 年至 30 年も経過しており、交通の流れを妨げるような巾

の狭さのために、道路容量が不当に低い木橋や Bailey 橋、1 車線のコンクリート橋や鋼鉄橋を 2 車線の永久橋と架け替えることである。上記の国道の橋の架け替えは、前記の道路改良プロジェクトの一部に含まれる。

#### 4-2-6 Tagbilaran 港湾改良

Tagbilaran 港は、ボホール州最大の港湾である。この港は、多量の貨物や乗客を扱ひ、ボホール州の主要な人口となっている。この港の施設は、すでに不十分で開発の進展と軌を一にした改良を必要としている。

したがって、フェンダーの改修、格納庫や倉庫の建設、棧橋や乗客用ターミナルの建設が必要である。

#### 4-2-7 Tubigon 港の改良およびターミナル

Cebu とボホール間の海運は現在、急速に拡大しており、将来ともボホール島の開発計画の進展に応じて拡大を続けるであろう。ロールオン・ロールオフ (Ro/Ro) フェリーシステムが Cebu・ボホール間の乗客輸送用に提案されている。Ro/Ro フェリー、システムは Tubigon 港に設置して、ボホールおよび Cebu から通う乗客の輸送を容易にすることが提案されている。Tubigon 港における Ro/Ro フェリー・ターミナルの建設は早急に必要とされている。このフェリー・システムには、通勤客の増加に応じるため、2 隻のフェリーボートが必要となろう。ボホール州の Talibon, Tagbilaran, その他の土地から Cebu に向う乗客は、Tubigon 経由で旅行し (例えば Tagbilaran から Tubigon および Talibon から Tubigon へのバス) さらに Tubigon からは、フェリー・サービス・システムが乗客を Cebu へ運ぶことになる。バスとフェリーシステムを使ったこの新しいルートは、最も経済的で最も時間がかからないと考えられる。1 隻のボート (1 日 4 往復) が、毎年、Talibon, Tagbilaran および Tubigon から約 800,000 人の乗客を運ぶものと見積られている。

#### 4-2-8 Jagna 港の改良

この港は、乾燥魚の輸出の主要な中継港として役立っており、この港から Mindanao 島への出荷額よりも大きくなっている。この港で扱われる貨物量は、将来行なわれるボホール州の開発や Mindanao 島との交易関係の改善にもなって増大するものと思われる。下記の港湾改良が必要である

格納庫および倉庫の改修、乗客用ターミナルの建設

#### 4-2-9 空港の改良

航空乗客輸送量は、ボホール州の経済活動の増大とともに増大することとなろう。州内総生産の現在の成長は、このような経済活動の指標の1つである。空路輸送に対する需要の将来の増加に応えるためには Tagbilaran に現存する空港施設の改良を行なうことが必要である。この改良は、特に空中での安全性や離着陸操縦確保のため不可欠であり、また、将来の空路輸送に必要な最低基準を満たすためにも必要である。

#### 4-2-10 AlcoGas 精製工場に関するフィージビリティ調査

この精製工場の目的は、エネルギーの自然達成に大きく貢献すること、および農産物の加工によって農業の“付加価値”の創出に貢献することである。このフィージビリティ調査によって、次のことを明らかにする必要がある。

- a) パイロット農場の規模および機能（研究開発または営利目的）
- b) 生産上の問題がある地域、特にカサバ等の地方的変種のために予想される問題地域の識別
- c) 全国のアルコガス開発計画に応じた精製工場の経済的フィージビリティ、および経済的生産規模のチェック

#### 4-2-11 遠隔通信の拡充

政府は、電報制度のない郡間でのよりよい、より能率的な情報伝送を促進すること、および、ボホール州各市の間に現存する通信上のギャップをとり除くことが必要である。

### 4-3 社会サービス部門

#### 4-3-1 住血吸虫病センター研究サービスの強化

住血吸虫に対する効果的な手段を確立するため、ボホール州で下記の作業を行なうための努力を払うことが必要である。すなわち、住血吸虫病にかかっている住民の数を識別する。Miyairi 貝および羅病住民がいる地域の環境調査を行なう。その調査によって必要なことが明らかになった対策を確立するためのあらゆる作業を行なう。

#### 4-3-2 移動医療サービス

医療サービスを農村地域に拡げ、現存する医療サービスを農村保健センターおよびLarangoy保健センターにも行うために、移動医療サービスを確立することが提案されている。この種のサービスには、4台の完全装備の医療自動車がいられ、現在ある保健センター間の一定径路を往復する医師その他の医療関係者のチームが参加する。サービスの正確な内容往復の径路、関係者に必要な資格、および車の仕様は、計画の後の段階で決定することが必要である。

移動医療サービスは、保健省との協力のもとに計画し、また保健省の管理下に置かなければならない。

#### 4-3-3 Tagbilaran におけるボホール州労働力総合開発センター(BIMDC)

Tagbilaran 市の BIMDC は、施設、スタッフ、その他の基盤となるインフラストラクチャーおよび資材を備え、年間約1,800人を訓練する主要センターとなる(他のBIADセンターのためには、他のセンターが計画されている)。

このセンターの目的は、次の通りである。

—ボホール州内の学校卒業生、学校落伍者、および職業をもつ成人に、情報、職業、技能訓練、職業紹介サービスを提供する。

—上記の人達が、新しい職業生活に入るための十分な準備ができるようにする。

—労働生産性を高めることで、ボホール州の経済開発に貢献する。

—各種教育機関や役所に配布する定期労働市場資料のための報告書を作成し、求職者に現在の職業市場に関する一定の情報提供が容易に行なわれるようにする。

—ボホール州内外の実業界と密接な連絡を保って、効果的な職業紹介サービスが確実に行なわれるようにする。

ハイインパクトプロジェクトの立地

米 経 済 部 門

E 1	土壌技術の活用とマルコス大統領農業推進センターの設立
E 2	Wahig - Pamacsalan 灌漑パイロット農場
E 3	野菜推進センター
E 4	肉牛開発
E 5	Cogtong 湾海産物加工工場
E 6	Cogtong 湾漁港
E 7	観光市場調査
E 8	海浜リゾート・ホテル開発計画

米インフラストラクチャー部門

I 1	Wahig - Pamacsalan 灌漑
I 2	Cahayag 自治体灌漑
I 3	Tagbilaran 供水施設
I 4	Tagbilaran - Tubigon 道路改良
I 5	Tagbilaran - Jagna 道路改良
I 6	Loay - Carmen 道具改良
I 7	Tagbilaran 港湾改良
I 8	Tubigon 港湾改良およびターミナル
I 9	Jagna 港湾改良
I 10	空航改良
I 11	Alcogas 精油工場
I 12	遠隔通信拡張(10都市)

米社会サービス部門

S 1	住血吸虫病計画強化
S 2	Tagbilaran のボホール州総合労働力開発センター

米注：下記のプロジェクトは、その場所の数が多すぎるか未決定のいずれかの理由で示されていない。

経 済 部 門

- 土地特性基本研究推進(当初は Tagbilaran 後に E 1)
- 流域修復に関するフィージビリティ調査
- 小規模産業のための新技術開発

インフラストラクチャー部門

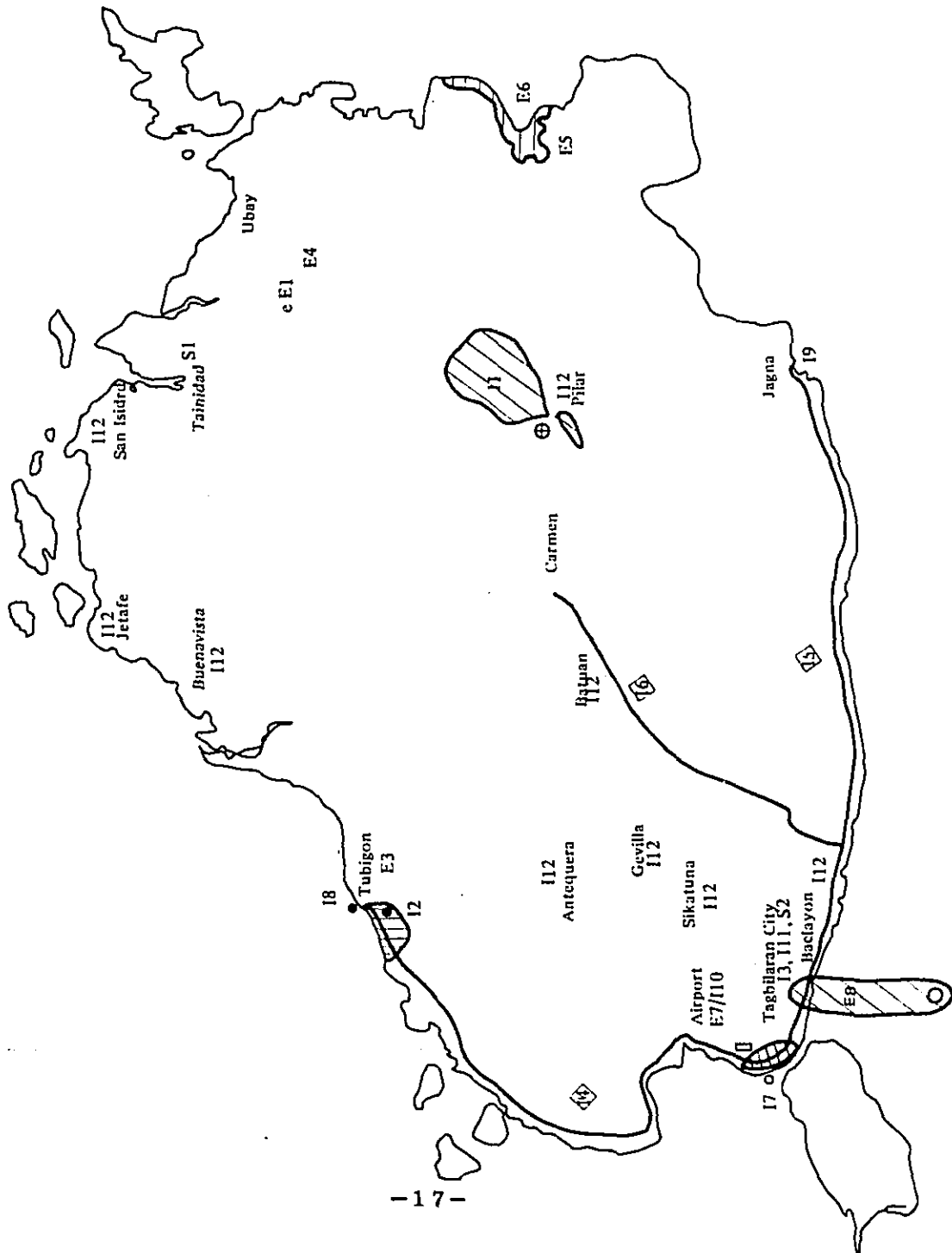
- 農村水道システム(各都市ごとの)
- 他の国道の橋梁のかけかえ

社会サービス部門

- 移動医療サービス



# HIGH IMPACT PROJECTS LOCATIONS



## ECONOMIC SECTOR \*

- E1 Exploitation of Soil Technology and Establishment of President Marcos Agricultural Promotion Center
- E2 Wahig-Pamacalan Irr. Pilot Farm
- E3 Vegetable Promotion Center
- E4 Beef Cattle Development
- E5 Cogtong Bay Fishery Processing Complex
- E6 Cogtong Bay Fishing Port
- E7 Tourism Market Survey/Promotion
- E8 Sea Resort Hotel Development Planning

## INFRASTRUCTURE SECTOR \*

- 11 Wahig-Pamacalan Irrigation
- 12 Cahayag Communal Irrigation
- 13 Tagbilaran Water Works
- 14 Tagbilaran-Tubigon Road Improvement
- 15 Tagbilaran-Jagna Road Improvement
- 16 Loay-Carmen Road Improvement
- 17 Tagbilaran Port Improvement
- 18 Tubigon Port Improvement and Terminal
- 19 Jagna Port Improvement
- 110 Airport Improvement
- 111 Alcogas Refinery Plant
- 112 Telecommunications Expansion (10 cities)

## SOCIAL SERVICES SECTOR \*

- S1 Strengthening Schistosomiasis Program
- S2 Bohol Integrated Manpower Dev. Center at Tagbilaran

\*Note: The following projects are not shown since their locations are either too numerous or indeterminate:

- Economic Sector
  - Promotion of Basic Research on Land Characteristics (initially Tagbilaran, later E1)
  - F/S on Watershed Rehabilitation
  - New Technology Development for Small Scale Industries

## Infrastructure Sector

- Rural Water Supply Systems (in every municipality)
- Replacement of Bridges on other National Roads

## Social Services Sector

- Mobile Medical Service

## 5 プロジェクトの費用見積

計画プロジェクトの費用見積りは、地方当局から提供された標準単価を用いて行った。これらの費用見積りの中には、さらに検討を加える必要のあるものもあるが、大略、大部分の費用見積りの中に含まれる偶発危険費は適切なものと考えられる。

下に、部門別のプロジェクト費用をまとめたものと、付録の表に要約して示してプロジェクトごとの詳細を列挙する。

経 済 部 門	6 4.3	百万ペソ
インフラストラクチャー部門	4 8 0.3	"
社会サービス部門	5.0	"
ボホール州総合地域開発計画 に要する費用合計	5 4 9.6	"

費用見積りは、資本支出の標準単価にもとづいて行った。原則として、運営費は含まれていないが、プロジェクトの種類に応じて、要員の訓練に必要な費用も含めた。しかし、計画の段階から、フィージビリティ調査や詳細な設計の段階に調査が進むに従って、費用見積りの精度は高くならなければならない点に注意されたい。UNIDOおよびその他の国際機構では、一般に、計画段階での費用見積りの誤差範囲は、約30%と考えられている。

報告書本文に示してあるように(第24-3表参照)、ハイインパクトプロジェクトを実施した場合のボホール州の所得創出効果は、最も低い時の219百万ペソから最も高いときの380百万ペソまでの範囲にある。この数字は、諸仮定をひかえ目に見積って得たものであるが、インパクトの高いプロジェクトを選択的に実施した場合でも、その経済効果はかなりなものになることが、容易に理解できよう。このことからみても、フィリピン政府は、精選したハイインパクトプロジェクトを実施するために必要な措置をたゞちにとることが強く望まれる。

以下の表には、ハイインパクトプロジェクトプロジェクトの優先順位が示してある。このハイインパクトプロジェクトに対する優先順位づけは、直接の経済的インパクトに基づいて行った。

ハイインパクトプロジェクトのための諸費用の要約

単位 1,000 ペソ (1 ペソ ≈ 約 33 円)

部 門	プ ロ ジ ェ ク ト	額	
<b>経 済 部 門</b>			
農 業	1. 土壌技術の開発と農業推進センターの設立	5,000	
	2. Wahig - Pamacsalan 灌漑パイロット農場	3,000	
	3. 野菜推進センター	3,300	
	4. 土地特性に関する基本調査の推進	500	
	5. 肉牛生産の推進	2,000	
	小計	13,800	
林 業	6. 流域修復に関する F/S	894.2	
	小計	894.2	
水 産 業	7. Cogtong 湾水産物加工工場	25,424	
	8. Cogtong 湾漁港	17,880	
	小計	43,304	
鉱 工 業	9. 小規模産業のための新技術開発	500	
	小計	500	
観 光 業	10. 市場調査/開発プロジェクト	770	
	11. 海浜リゾート・ホテル開発計画	5,000	
	小計	5,770	
<b>インフラストラクチャー部門</b>			
カンガイ 水道計画	1. Wahig - Pamascalan 灌漑	328,500	
	2. Cahayag 自治体灌漑	11,000	
	3. Tagbilaran 水道	12,000	
	4. 農村給水	3,680	
	小計	355,180	
輸 送	5. Tagbilaran - Jagna 道路改良	9,824.5	
	6. Tagbilaran - Jagna 道路改良	8,877.5	
	7. Lowy - Carmen 道路改良	7,485.5	
	8. 他の国道上の橋梁の架け替え	6,160	
	9. Tagbilaran 港改良	27,296	
	10. Tubigon 港改良およびターミナル	506.6	
	11. Jagna 港改良	1,784	
	12. 空港改良	4,340	
		少計	116,383.5
	エネルギー 通 信	13. Alcofes 精製プラント F/S	800
		小計	800
		14. 遠隔通信の拡大	700
	小計	700	
<b>社会サービス部門</b>			
公衆衛生	1. 住血吸虫病計画の強化	250	
	2. 移動医療サービス	700	
	小計	950	
人的資源開発	3. Tagbilaran のボホール州労働力 総合開発センター	4,000	
	小計	4,000	
合 計	(28) ボホール州総合開発計画	542,281.7	

インパクトの高いプロジェクトの優先順位

優先順位	部門別	プロジェクト名
AA - 最 優先順位	灌漑計画	・ Wahig Pawascalan 灌漑
A - 第1位 優先順位	農 業  水 産 業 鉱 工 業 灌漑計画 水道計画  輸 送  エネルギー 公衆衛生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土壌技術の改良および農業推進センター</li> <li>・ Wahig Pawascalan パイロット農場</li> <li>・ 土地特性の調査</li> <li>・ 肉牛生産の推進</li> <li>・ Cogtong 湾水産加工工場</li> <li>・ 小規模産業のための技術開発</li> <li>・ Cohayang 共同灌漑</li> <li>・ Tagbilaran 水道</li> <li>・ 農村給水</li> <li>・ Tagbilaran 港改良</li> <li>・ Tubigon 港改良およびターミナル</li> <li>・ Jagua 港改良</li> <li>・ Alrogas 精製プラントのF/S</li> <li>・ 住血吸虫病計画の強化</li> <li>・ 移動医療サービス</li> </ul>
B - 第2位 優先順位	農 業 林 業 水 産 業 運 輸  通 信 人的資源開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 野菜生産推進センター</li> <li>・ 流域保全のF/S</li> <li>・ Cogtong 湾漁港</li> <li>・ Tagbilaran - Tubigon 道路改良</li> <li>・ Tagbilaran - Jagna 道路改料</li> <li>・ Loay - Carmen</li> <li>・ 他の国道上の橋梁の架け替え</li> <li>・ 遠隔通信の拡長</li> <li>・ Tagbilaran のポホール州労働力総合開発センター</li> </ul>
C - 第3位 優先順位	観 光 運 輸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光市場調査・開発</li> <li>・ 空港改良</li> </ul>
D - 第4位 優先順位	観 光	・ 海浜リゾート・ホテル開発計画

## 6 実施に必要な戦略

実施上の戦略として、ハイインパクトプロジェクトを全体として、ボホール州地域総合開発計画（BIADP）という新しい名称で呼ぶことが望ましい。以下実施に関する具体的な勧告を示す。

### 6-1 プロジェクト機構の早期設立

プロジェクト実施の母体となる機構が欠除していたり、あるいは十分に機能されていなかったために、プロジェクトの実施が遅れたという事例は多い。特にボホール州の現状に対処するために必要な機構とその目的をBIADPのために早急に確立することが強く望まれる。

### 6-2 実現性の高いプロジェクトの戦略的選択

一連の高優先順位のプロジェクトを同時に実施することは、例えば、

- 1) 利用可能に十分な資金や人的資源の不足
- 2) 各プロジェクトを実施するために必要な手順、作業、業務のネットワーク
- 3) 経済的利益、又は需要の緊急度、所要期間

その他の規準から判断して、プロジェクトの優先順位は、各プロジェクトの間で必然的に違ってくるものと思われる。従ってBIADPの実施初期に当って、容易に実行できるプロジェクトの種類を戦略的に選ぶことが強く望まれる。

### 6-3 プロジェクトパッケージ

Wahig - Pamacsalan灌漑プロジェクトを除いて、BIADPのために識別されたプロジェクトに関する見積り投資費用は、相対的に小さい。そのため、経済効率から考えて、必要なフィージビリティ調査や実施計画およびスケジュールの立案のために、一連の計画プロジェクトをパッケージとしてとり扱うことがきわめて望ましい。

プロジェクトパッケージ法はフィージビリティ調査の費用効果のためばかりでなく一連のプロジェクトを実施するためには、作業、業務のネットワークが必要なことからこれをを用いることがきわめて望ましい。

### 6-4 プロジェクト実施ネットワーク

一連のハイインパクトプロジェクトを実施するための基本スケジュールおよびネットワークに従っていかに実行していくかを明らかにすることは必要である。このためには、フィージビリティ調査あるいは計画実施のためにどのプロジェクト

を選ぶべきかは、一定の戦略的決定方針に基づいて決定しなければ、成果のあるものとはならないであろう。

#### 6-5 追跡調査の必要性

あらゆる開発計画は、それが描かれた時に完了するものではない。いかなるプロジェクト計画も、定期的に再検討し、変更が必要なことが判明したときは、新しい要因のもつ効果を考慮しつつ計画を策定し直さなければならない。BIARDに関しては、現在の作業を補足するために、追跡調査を行なうことが望まれる。

追跡調査には、次のようなものがある。

- 1次データの作成
- さまざまな時期における需要供給の予測
- 経済部門、インフラストラクチャー部門および社会サービス部門の詳細な部門別計画
- 具体的地域開発計画
- その他

#### 7 “BIAD”地方開発の考え方

フィリピン政府は、その地方開発を、開発計画を地方分権的に行う方向へと転換しており、この傾向に応じて開発されたアプローチあるいは方法に“開発総合地域(IAD)”という考え方がある。ボホール州はBIAD<sup>I</sup>からBIAD<sup>V</sup>まで、5つのBIADに分けられており、各BIADはそれぞれいくつかの郡から成りたっている。

(第22.2図参照)

人口が散在している農村社会に、費用効果の大きい社会的インフラストラクチャーや社会サービス網を建設することはきわめて難かしいと考えられるので、インフラストラクチャーと社会サービス施設を階層的役割りに応じて割当てられる場合には、戦略的な配慮が必要となる。このため、BIADの各郡は“3つの開発の階段”(成長の軸、成長の中心、サービスの中心)の1つとして性格づけられ、その各々が機能上の役割によって階層的に配列されている。(第22.2表は、各階段の機能上の役割を詳しく示している)。ボホール州についていえば、3つの階段は、次の通りである。

州の成長の軸(PGP)

Tabilaran (BIAD I)

BIADの成長のセンター(BLAD-G)

Tubrgon (BIAD II)

郡サービスセンター

Ubay (BIAD III)

Jagna (BIAD IV)

Carmen (BIAD V)

他の郡部

ボホール州の経済は、多少とも均質的な農業社会で、そこには社会経済構造に有意な差が存在しないから、このBIADの考え方は行政上の目的で人工的につくられた地域開発計画上のものではないことになる。

実際、IAD(開発のための総合地域)の考え方は、当初NEDAによって、その地方開発計画の考え方の上での道具として開発されたものであり、この考え方がボホール州の地域総合開発計画に用いられなければならない。しかし、この考え方は下記の理由から、当分の間維持していくべきであるというのが、われわれの判断である。

ーボホール州の地方に現在ある開発の必要性は、BIADのレベルでとりまとめるのが最も効果的であり、またBIADは、“底辺から積み上げるアプローチ”の実際的な開発計画の手段として利用できる。(第7, 2.4章を参照)

ーBAIDの考え方に基づいて、これまでも、すでにさまざまな計画が立てられており、そこに他の考え方を持ち込むことは開発計画担当者の中に不必要な混乱を招くおそれがある。

ーこれに代る考え方や手段は、ボホール州で進行中の計画立案過程に対する実際の役割からBIADの考え方の功罪を慎重に評価した後で、はじめて導入すべきである。

ー必要且実用的なデータは、BIADのレベルで作成、編集するのが最も効果的である。

長期開発計画に関しては、ボホール州は、下記のような視点から、総合開発計画の基本的単位地域として、より有効に機能すると考えられる。

ー州レベルでは、より大きい資金量を活用できる。

ー各行政単位の協力態勢を確立するための労力を払わずに、開発計画に対する統一的

なアプローチが可能となる。

ーボホール州の開発全体のニーズや潜在能力を考えながら、資源の割り振りをより効果的に行うことができる。

## 8 長期的開発戦略

### 8-1 ボホールの経済のための開発戦略

この調査は、即効的な作用のあるインパクトの大きいプロジェクトに主に焦点を当てたものであるが、開発の長期的枠組についても検討を行った。一般的な経済開発のパターンがボホール州にも適用できるとすればボホール州の開発計画担当者は、下記の諸点に政策上の考慮を払うべきである。

- 1) 第2次産業 第3次産業の発達を促すために、ボホール州の長期開発計画を策定しなければならない。1975年の雇用の産業別構成は、第1次産業別部門 64.8% 第2次産業部門 12.4%、第3次産業部門 22.8%であった。この割合のパターンは、順時、ボホール純州内生産(NPP)の変化予測に見会うように、第1次産業部門以外が増加するように変えていかなければならない。この変化は主として、産業構造に基づく第2次産業がNPPの成長率を押し上げる働きをもつため、のぞましい変化である。ボホール経済の潜在的NPP成長率は、2つの要因によって決まる。1つは、労働力生産性の成長率であり、他はボホール州内の労働力の成長率である。

ボホール州経済が農業を基盤としている限り、将来経済の高い成長率も労働市場の拡大も期待できない。

- 2) 過去において、ボホール経済を停滞させてきた最も重要な要因は、ボホール州において、熾業あるいは他の産業のいずれもが、ボホールの経済開発に対する刺激剤としての主要な役割りを果せなかったことにある。ボホール州で利用できる資源の相対的な利点を十分に活用して、主導的産業を効果的に発達させるためには、どうすればよいかについて、開発計画担当者は、戦略的な考慮を払う必要がある。



- 3) フィリピンに存在する地域格差、特に首都マニラ地域(MMA)と他の諸州の間の格差がフィリピン経済の特徴である二重構造の表われであることは、よく認識されている。ボホールは、過去、フィリピンの伝統的な経済部門として機能しその主な役割は、余剰労働力を工業部門に供給することであった。他方労働力の流動性が高いために、ボホール州はかなりの量の生産労働力を失い、それが、ボホール経済の停滞の一因ともなっていた。短期的には、フィリピン経済のこの二重構造を徹底的に変えることはできないので、ボホール経済はフィリピンの他の進んだ工業地域に対する補助的乃至は補足的役割を果たすにとどまらざるを得ない。しかし、長期的にはボホール州も州内で利用できる資源を充分活用して、農業や加工産業の開発など、産業開発計画を実施して、その状態を改善していかなければならない。
- 4) 第25章に述べたように、ボホール州の財源は貧弱であり、州政府はその行政運営費をまかなう分も、国政府からの国内収入割り当て金にたよらなければならない。その結果、ボホール経済を刺激する投資に利用できる資金は、ほとんど皆無である。実際資本蓄積が低いままにとどまっているので、資本の限界係数が高くなっている。経済の低成長は、この高い資本の限界係数と低い貯蓄率が原因の一部となっている。政府の支出、特にボホールの経済部門の生産性を押し上げることでできる産業インフラストラクチャーに対する公共投資によってボホール経済を刺激することが重要な政策手段の1つである。
- 5) ボホール州の開発計画担当者は、所得の乗数効果によって経済成長が加速されることから、ボホール経済の経済発展を実現するためにも所得乗数を利用すべきだと考えるかも知れないが、ボホールの場合には、主として財源の欠乏と経済活動の低水準すなわち投資機会の欠除のために、投資乗数は機能し得ない。このため政策立案者は、所得乗数効果を生むような他の外源的政策を選択すべきであろう。政策立案者が用いるべき戦略手段は、ボホール経済のための“基本所得源として輸出を利用する”輸送乗数を用いるべきである。この調査では、輸出志向型の産業、特に区域Ⅲの主要な産業成長の軸であるMetro Cebuの消費財や生産財の市場需要をまかなうような産業を開発すべきであることが主張されている。

## 8-2 ボホールの産業に対する開発戦略

ボホールの産業のインプット/アウトプットの表は入手できないので、開発計画プロジェクトの長期的な部門間の関係に関してどのような戦略を描くべきかについて、定量的

的に技術的指標を作成することはできない。しかし、NEDAONCSO が発行したフィリッピンの産業間（インプット・アウトプット）勘定をもとにして、ボホール経済の開発に関する次のような見解のアウトラインをつくることができる。

1 ) 開発の初期に高い前方連係効果のある産業の確立、開発

- (a) 一般に付加価値比は、農業、特に野菜及び根菜農作物で高く、また、労働分配比も高い。これは、これらの商品が他の産業部門からのインプットをほとんど必用としないこと、すなわち、後方連係効果が低いこと、また、それらが本来、労働集約的な種類の作物であることを示している。
- (b) 根菜植物 野菜、果物、ナッツ類、きび類、水稻および水産業は、付加価値比からみれば、ボホールにきわめてのぞましいものである。
- (c) ボホールには石灰石、シリカその他が比較的豊富だが、非金属鉱業や採石業は他の産業からのインプットが僅かで、純粋に資源収奪的である。
- (d) 第1次産業部門の余剰生産物を利用した農業、水産業依存型産業、例えばココナツ油、家内工業等の漸進的発達がのぞまれる。

製造部門では、肉製品、米粉、ココナツ油などは、付加価値比は低いが、後方連係性が高い。従ってボホール州は比較的多額の資本投下を必要とする農業依存型産業を確立することによって、これらの産業に原料を供給することができる。

- (e) 一般に、産業間の連係効果は、製造業で高く、製造業を確立するためには、工業部門自体の中に、前方連係性と後方連係性をもった相互にからみ合ったシステムが必要なことを示している。

2 ) 開発の後の段階での高い後方連係効果をもつ産業の開発

- (a) 軽工業、機械修理店、機械店、電気機具店などの設立
- (b) 縫製業、家具製造業などは、比較的付加価値が高く、また労働集約的なことからこれらの産業の確立。

3) 電気、ガス、水道、サービスや建設では他の工業部門からのインプットが比較的大きいことは明らかである。商業、運輸、通信サービス業などの第3次産業部門では、当然、付加価値は高い。第3次産業部門開発の重要性は、次の通りである。

(a) ボホール経済のNPPを高めるための高い付加価値

(b) 高い労働吸収力

観光業も効果的に開発され、市場が開拓されれば、ボホール経済に大きく貢献する。

4) 有効需要創出政策

(a) ボホール経済の所得を決定する輸出乗数効果を十分に活用するために、輸出創出に高い優先順位があたえられるべきである。

(b) 消費部門の最終需要は、食料品目の需要から、非食料品目の需要に転換されるべきである。

(c) 投資および政府支出は、主として財源不足のため、ボホール州では主要な役割りを期待することができない。

### 8-3 立地条件的開発戦略

長期開発計画の視点からは、各種地域の間異なる経済的役割りを最も効果的に割り振るために立地条件的開発戦略を策定することも必要である。ただし、地域総合開発計画の空間の単位が、地方政府の行政単位に対応するものではないことを理解する必要がある。ボホール州に対する空間的開発戦略は、下記の規準を考慮して策定すべきである。

ーボホール州に関する立地条件的開発戦略は、諸地域の各種与件および将来の開発の可能性を慎重に考慮して策定しなければならない。

基本的な計画単位には、BIADの枠組をそのまま続けて用いることもできる。

しかし、ボホール州の地域指定制度が、BIADに対応する必要はない。

－集結および立地条件的連係効果

－経済的役割りの割り振りと労働力の分割

－資源に乏しい現状のもとでは、“成長の軸”的アプローチがのぞましい。ボホール経済は、ひとりでは自己維持成長力をもった成長性のある経済的まとまりとはなり得ないのでMetro Cebu 地方の成長の軸の不可分の構成要素であり、“Metro Cebu の成長の回廊の一部”としてそれに参加していると考えべきである。ボホール経済が担うべき主な機能は、特に農水産物産品、農業依存型工業の製品、小屋産物製品等のMetro Cebu の補給庫としての役割りであろう。

－ボホール経済を第Ⅲ地方のMetro Cebu 地方の成長の軸の“補給源”として位置づける長期開発の枠組

ボホール経済は、Metro Cebu への補足的あるいは補助的役割りを果たすことで、Metro Cebu 経済と並行的に開発することが必要である。

－特に停滞した地域の経済レベルの押し上げ

－都市部および農村部双方にインフラストラクチャーと社会サービス施設が最適に分布しており、住民の増加に応じて増加することを確保するための地区開発計画の策定が必要である。

LIE